

工事現場の安全対策にかかる創意工夫

整理番号：4

分類	第1章第4節2.工事内容の周知・徹底
事例名称	デジタル風速計及び警報パトランプを活用した現場条件の周知
<p>対策の概要</p> <p>クレーン作業に於いては、風速による作業中止基準等を定めている。視認での吹流しの角度による風速判読のほかにデジタル風速計を導入し、これにパトランプを接続することで、8m/h以下では警戒の黄色のランプが、10m/h以上で作業中止の赤色のランプが回転点灯するよう作業中止基準と連動するようにした。</p> <p style="text-align: right;">川合新田護岸下流工事</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>仮設電源にソーラー発電を利用した。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>3色パトランプ警報機(一番上が赤色の回転ランプ)で遠くからも認識できた。また、警報音が出るため、聴覚にも感じる事が出来るタイプ</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>パルス式風速計</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>実際の風速が数値で表示され、全作業員に認識させる事が出来た。</p> </div> </div>	